

# 子どもと大人“松林協働”10年の歩み

万里の松原に親しむ会 三沢英一

## 1 はじめに

本会の活動の中心エリアは、国有保安林である万里の松原内の南の森である。平成13年、生活環境保全林事業により市民の憩いの場に生まれ変わった松林の手入れを目的に発足したのが、本会「万里の松原に親しむ会」である。本会の歩みを辿りつつ、子ども＝学校、地域、企業、行政の協働（環境教育を含む）の発展と深まりを報告することは、生物多様性や市民参加、環境教育が叫ばれる今日、一つの事例として参考になると考えたところである。

## 2 本会の概要

### (1) 活動フィールド

本会の活動フィールドは、国有保安林である「万里の松原」内の南部約60haが中心となっている。市民は、隣接する光ヶ丘公園約50haと一体のものとして利活用している。

### (2) 活動の目標と現状

#### ① 目標

- ア 砂防林の歴史と大切さを学びつつ、その保全活動を行う。
- イ 森林環境教育を推進する。
- ウ 会員は、「楽しく・生きがい・継続」をモットーに活動する。

#### ② 現状

20人余で発足した本会だが、現在、個人会員92人（女性19人、国有林OB11人）、団体会員15団体（学区自治会2、企業団地自治会1、学校＝小2・中2・高1、社会福祉法人1、企業6）と、多様な構成になっている。

## 3 活動のあらまし

### (1) 年間活動の概要

「年間活動計画」（別表）のとおりだが、年間を通じ、清掃・下草刈り・剪定などをはじめ、交流施設であり活動拠点であるフォレストパルの管理を行なう一方、作業体験や松林の歴史学習、植林の史跡や現状を現地で学ぶ野外観察など、子どもたちを対象とする森林環境教育を実践している。

### (2) 特徴的な活動

#### ① 会員の交流・スキルアップ

##### ア 会員の交流

多様な人生経験を持ち、ボランティアへの思いも各自それぞれである会員の絆を深める、会員交流、研修、懇親は、組織運営の上で極めて重要である。また、他地域の森林ボランティア活動状況を学ぶための一泊研修も毎年度行なっている。

写真 a は、山形市・千歳山での研修風景（一昨年）である。近年では、能代、村上などを訪問している。

#### イ スキルアップ

国有林内での活動であることを自覚し、作業の質と安全を確保するための研修を行なっている。森林関係の会員企業の協力を得ている。

### ② 森林環境教育活動

#### ア 体験林業

小・中・高生が行なう、植林、下草刈り、枝打ち、環境整備等の活動への指導や協働行動など、本会会員が参加しての活動支援の実施。

#### イ 遊歩道の整備 — 奥の細道古道の復元

松林に隠れていた里道（松尾芭蕉が奥の細道行で通った旧秋田街を、会員の手により遊歩道として復元整備した。酒田市と郷土史家の協力を得て、市と本会の連名の説明板を設置した。

#### ウ 防災林造成の体験学習

海岸林の最前線で森林管理署と林業企業の協力を得て実施したほか、平成 22 年には、海岸砂丘の砂草地の復元、植栽について現地で学習した。（写真 b）

### ③ 地域活動

#### ア 環境美化活動

ツツジなどの刈り込みや活動エリアの清掃など環境美化活動を随時行っている。

#### イ 森林文化活動

■ 中学校や高校の協力を得て、地域の社会福祉施設の敷地内を舞台に、例年、「森の音楽祭」を実施している。既に 7 回目を数える。

■ 自然観察教育林内に植栽され本会が手入れしている酒田市の友好都市・中国唐山市から贈られたサンザシを保育園児が収穫し、会員がジュースやジャムに加工。関係団体に贈呈するほか諸活動に活用している。（写真 c）

#### ウ 国際交流

これまでに韓国、中国、インドネシア等より万里の松原への訪問があり、地域住民と子どもたちによるボランティア活動を中心に説明し、交流を行ってきた。

#### エ 活動拠点・フォレストパルの建設

本会の活動拠点として、会員の絆を

（写真 a）



（写真 b）



（写真 c）



強めるのに寄与している。また、散策する市民の休憩の場としても開放している。

(写真c)

#### ④ 広報活動

##### ア 積極的な情報発信

各種森づくり関係等イベントに積極的に参加し、情報発信に努めている。

##### イ 会報「まつば」の発行

2回/年発行し、会員のみならず地域の人びとへの広報も担っている。

##### ウ 短信「まつば」の発行

1回/月発行。会員への情報伝達及び活動の計画・目的やその結果についての周知を行っている。会員や関係機関に配布。

##### エ リーフレット「万里の松原」及びパンフレット「万里の松原人」の刊行

万里の松原を広く紹介するとともに植林の歴史と現状、平成の「松原人」である私たちの想いを綴っている。

## 4 成果と課題

### (1) 成果

20余名で発足した本会は、3年目の「みどりの日」植樹、自然観察教育林の設定を転機として会員の意識の高まり、自らの役割や作業能力への自覚と自信、そして活動の達成感が力となり、活動の幅と量が拡大した。その活動への評価として、森林リクリエーション地域美化コンクールでの林野庁長官賞や環境やまがた大賞・県知事賞の受賞につながったと考えている。

### (2) 課題

#### ① 会員間の意思疎通の徹底

役員等指導体制の充実を図り、不断に目的意識を高める努力が欠かせない。そのためにも新たな会員の加入促進が必要である。

#### ② 地元企業の参加

企業の社会参加の一つとして、積極的なアプローチを進める。継続的な参加は、技術面や作業効率の面でも大きな力となるのは、林業関係企業の入会の例に見られるとおりである。

#### ③ 健全財政の確立

財政力に限界があるボランティア団体である。会員の持ち味を活かせる組織運営を基本に、限られた財政力に見合った身の丈に合致する健全な組織運営に心がける必要がある。

## 5 むすび

万里の松原に親しむ会は、発足時の予測を超えて、今日まで歩みを進めることができた。今後とも、常に初心に戻ることを怠ることなく、継続して活動ができるボランティア団体として、不断の努力を重ねていく必要があると考える。

国際森林年を機に、そして結成10周年を迎えるこの時期、改めて確かな歩みを刻んでいきたいものと決意している。

(別表)

平成22年度 年間活動計画表

月 別	時期	活 動 計 画
4 月	上旬	総会諸準備（年間活動計画の作成等）
	中旬	定期総会・森林環境美化活動（市の支援）
5 月	上旬	植樹活動体験学習（小・中学校外）
	中旬	森林環境保全活動（下刈り作業）
	下旬	森の音楽祭・森林環境保全活動（下刈り作業）
6 月	上旬	森林環境美化活動（剪定作業）・会員交流事業
	中旬	会員研修旅行（1泊2日）
	下旬	森林環境美化活動（剪定作業）・森林環境美化活動（市の支援）
7 月	上旬	海岸林体験学習活動（地域の小学校：事前学習&バスツアー）
	中旬	森林環境保全活動（下刈り作業）
	下旬	森林環境保全活動（下刈り作業）
8 月		
9 月	上旬	会報発行（前期）・森林環境美化活動（市の支援）
	下旬	森林環境保全活動（下刈り作業）
10 月	上旬	森林環境保全活動（地域の小・中学校：クロマツ林の枝打ち支援）
	中旬	森林環境保全活動・自然観察教育林での森林環境教育活動
	下旬	森林環境保全活動・巣箱造り&野鳥観察会・会員交流事業
11 月	上旬	海岸林体験学習活動（地域の小学校：事前学習&バスツアー）
	中旬	庄内海岸の砂防林整備活動の支援（県主催）
	下旬	森林環境保全活動（地域の小・中学校：クロマツ林の枝打ち支援）
12 月	上旬	森林環境美化活動（剪定作業）
1 月	中旬	会員交流事業（新年会）
2 月	中旬	会報発行（後期）
3 月	中旬	森林環境保全活動（樹木管理作業）・融雪後の植栽木保全作業
	下旬	総会諸準備（年間活動の総括）